



シャインマスカットを一房ずつ丁寧に収穫する



愛情を込めて育てた桃の色や形を確認

総社産のフルーツが実る

ブドウ・桃の収穫がスタート

7月上旬から、市内のブドウや桃の生産が最盛期を迎えています。ブドウや桃などの一大産地である総社市。強い日差しが照りつける中、各農家は愛情を込めて育てたフルーツの収穫に精を出していました。

収穫されたフルーツは、全国に出荷。市内では、直売所などで販売されています。



赤米文化を守り、伝えていく

赤米田植え体験

6月13日に新本の本庄国司神社神田で、25日には備中国分寺南の水田で、赤米の田植えが行われました。歌手で総社赤米大使を務める相川七瀬さんも参加しました。

本庄国司神社神田では、豊作と安全を祈願した後、相川さんや本庄国司神社赤米保存会のメンバー、新本小学校5年生12人が丁寧に苗を植え付けていました。

備中国分寺南の水田で行われた田植えには、親子連れ約50人が参加しました。初めて参加した子どもたちは、相川さんの植えている姿を見よう見まねで植え付けを体験。田植え後には、泥んこレースが行われ、子どもたちは全身泥まみれになりながら、田んぼの中を駆け抜けていました。



① 本庄国司神社神田で苗を植え付ける相川さんと新本小5年生【6/13】 ② 参加者に植え方のアドバイスをする相川さん【6/25】



サッカーがうまくなりたい!

三菱自動車水島FC サッカー教室

6月25日、三菱自動車水島FCと市との連携協定に基づくサッカー教室が、総社北公園で開催されました。

三菱自動車水島FCの選手らが指導を務め、市内サッカークラブ所属の小学生約100人が参加しました。選手らにアドバイスをもらい、児童らは汗をかきながらボールを追いかけていました。



教えてもらったポイントを押さえながら実践練習



だれが一番早くゴールできるかな

子どももチュッピーも元気いっぱい

チュッピーと大運動会

6月17日、雪舟生誕地公園でチュッピーと大運動会が開催されました。

晴天の中行われた運動会には、幼児から小学生までの約140人が集結。子どもたちは、徒競走や玉入れなどの競技に挑戦し、チュッピーと一緒に楽しいひとときを過ごし、心地よい汗を流していました。

競技終了後には、撮影会が行われ、記念撮影をすることができた子どもたちからは満面の笑みが溢れていました。

●ミニフォト

三谷さん 100歳おめでとう



家族に祝福される三谷さん

6月5日、三谷チエ子さん(清音三因)が満100歳の誕生日を迎えられ、6月21日に市から記念品が贈られました。縫製業を営み、学生服などの製作に携わってきた三谷さん。歯の健康を保つことが、長寿の秘訣だそうです。

犯罪や非行がない世の中に



優秀標語の受賞者

7月10日、社会を明るくする運動総社市推進大会が総合福祉センターで開催され、同運動市推進委員会委員ら約70人が参加しました。優秀標語の表彰が行われたほか、大会終了後には運動啓発の広報車が出発しました。

交通安全の啓発に貢献



表彰を受けた総社高校家庭クラブ

7月12日、県わかば賞の伝達式が総社高校で行われ、同校の家庭クラブが表彰されました。交通安全の啓発活動としてドライバーに配布する折り鶴のお守りを、50年にわたり製作したことが認められました。

発災時に命を守るために



熱心に説明を聞く受講者

6月29日、清音地区のひだまりの家で「自助でできること」と題して、市職員が防災講話を行いました。参加した地域住民は、非常持ち出し品の準備や地域全体で災害に備えることの大切さを確認していました。

日本の伝統芸能に親しむ



息を合わせて演奏を披露

6月28日、学校巡回公演事業能楽公演が池田小学校で開催されました。一般社団法人京都能楽囃子方同明会が気迫のこもった演奏を披露。そのほか、同小の児童と一緒に演奏し、訪れた地域住民らを魅了しました。

今年も元気です!みなぎ



昭和中学校吹奏楽部が演奏で参加

7月8日、昭和公民館前で「7/6愛・絆美袋5年祭」が開催されました。参加者らは、防災用品の展示や防災クイズ、非常食試食会などを通じて豪雨災害の記憶を語り合い、祭りの最後に打ち上げられた花火に歓声を上げていました。